

2008年沖縄週間/沖縄の旅 参加のごあんない

6月20日（金）～23日（月）



ぬち たから 命どう宝 ～キリストの希望は痛みの共感から～

覆われているもので現されないものはなく、
隠されているもので知られずに済むものはない。 ルカ 12：2



「メンソーレー^{ウチナー}沖縄かい（いらっしゃい、おきなわへ）」

私たちは、自分の醜いところは隠し、良いところだけを見せようとする傾向にあります。誰もが、自分のすべてをさらけ出すことに躊躇（ちゅうちょ）します。これは国も自治体も同じです。青い海に青い空、緑の野原に美しい花々、色とりどりの熱帯の魚たち、優れた情報システムをめぐる高層ビル、文化的で快適な暮らしや、ゆったりした時間や平和な世界を演出し宣伝します。でもその反面、忙しく動き回り、あくせくジタバタと生きるためにうごめいている姿は見せようとしません。

2月沖縄では、米軍人による女子中学生への婦女暴行、普天間基地が移設される辺野古での酔った若い米兵の家宅侵入、PAC（パトリオットミサイルによる防衛構想）で新たに沖縄に配置された米兵によるフィリピン人女性への暴力事件・・・と立て続けに事件・事故が発生しています。今は国会でも取り上げられて問題になっておりますが、沖縄県民の感情は伝わってないようです。

同様に、去年の教科書検定意見書に対する沖縄県民の怒りは、9月の総決起大会まであまり知られていなかったように感じました。教科書が文部省の意図的な検定意見によって、日本軍による集団自決への「強要」が「関与」になり、日本軍による住民虐殺も日本軍という主語がなくなり、誰がやったのかわからないあいまいな文章になっています。しかし本土のテレビや新聞を見ますと、沖縄で取り上げているようなことはほとんど報じられておりません。

沖縄に基地があることの根幹は、日米安保条約にあることは誰もが知っています。では何故、その安保の負の部分、基地がある故の多くの問題、基地被害、軍車両による交通事故、民間機との飛行事故、軍用機騒音、米軍人による多種の犯罪、摩擦などをこの小さな沖縄に押し付けるのでしょうか。

日本政府は沖縄県民に目を向けることはありません。いつも米国の都合の良い方に、事を運んでいきます。それは日本復帰後に起こった全ての事件・事故がどうなったか、裁判はどうなっているかをみれば明らかです。中立の立場、正義の味方のはずの司法までが、国の都合のよい裁判を繰り返し続けています。何故でしょう。「沖縄に来ると、日本が見える」という言葉があります。どうぞ、その日本が隠そうとしている部分を、自分が今まで見ないでいた日本をのぞいて見てください。そこに、日本が今どこに向かおうとしているのか、何を目指しているのか、将来の日本が見えてくるようです。

この聖書の言葉は生きて働いています。

「覆われているもので現されないものはなく、隠されているもので知られずに済むものはない。」ルカによる福音書 12 : 2

2006年第56(定期)総会にて、これまでに続いて「沖縄週間」の継続が決議されました。

これは、日本聖公会の全教区・教会が沖縄の現実に思いを寄せ、私たち自身が主の平和を求めて祈ることを目的とするものです。

沖縄教区と日本聖公会正義と平和委員会は、この週間にあわせ、沖縄の歴史及び現在を学ぶ旅を行い、全国の皆さんをお誘いしています。ぜひ、多くの方々のご参加をお待ちしています。

沖縄週間の祈り

歴史と生命の主である神よ、私たちが平和の器にしてください。

嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、

敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。

私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中に癒しを、

疑いの中にあなたへの信仰を、主よ豊かに注ぎ込んでください。

この沖縄週間を通して私たちにし、

あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。

私たちの主イエス・キリストのいつくしみによって、

このお祈りをお献げいたします。 アーメン

主催 日本聖公会 沖縄教区宣教部
日本聖公会 正義と平和委員会

参加のしおり

* 航空券手配について *

開催初日6月20日(金)の宿泊先とともに、市販の「ホテルパック」で手配されることをお勧めします(航空券とホテルを別に取りよりも安く購入できます)。各地発および帰りの沖縄発の時間はできる限りプログラムに支障のないようにご設定ください。

* 宿泊について *

- ・20日の宿泊先は、翌21日のプログラムの出発地が「とまりん」(那覇市内・泊埠頭ターミナル)付近ですので、那覇市内で、なるべく「とまりん」に近いホテル(地図参照)をご手配ください。(20日は21:00に解散後、各ホテルへ。21日は8:00までに「とまりん」付近集合となります。参加者には後日詳細をお知らせします。)
- ・費用を抑えたい方は、20日、小祿聖マタイ教会への宿泊等も手配できます。
- ・21・22日の宿泊先は基本的には当方で手配します。

問い合わせ先	ご注意を!昨年までと違います。
+ 小倉インマヌエル教会 司祭 柴本 孝夫 +	
TEL/FAX: 093(551)0006	E-mail: t-mark@hi-ho.ne.jp
ホテルパック手配のことなど遠慮なくお問い合わせください。	

* 費用(概算) *

- ・20日 ホテルパック(各自)
 - ・21日 教会分宿 - 2,500円
 - ・22日 ホテル - 6,000円程度
 - ・フィールドトリップ参加費 - 5,000円
 - ・20・23日移動レンタカー料(参加者で頭割り) - 各2,000円程度
 - ・食事代(20日夕・21日昼・22日夕・23日朝・23日昼) - 3,000円程度
- 合計金額 各地からのホテルパック + 18,500円程度

* 集合時間・場所 *

13時までに那覇空港1階「到着口B」付近へ。係の者が立っています。各自昼食を済ませてお集まりください。

* 20日受付から参加する方の集合場所 *

沖縄教区センター・ベッテルハイムホール

浦添市前田3-3-5 TEL098(942)1101 FAX098(942)1102

那覇空港からモノレール「ゆいレール」で儀保(ぎぼ)駅まで(料金290円 所要時間25分)。儀保駅からはタクシーを利用。「前田3丁目のサンレーグランドホール前ベッテルハイムホール」と言ってください(料金約800円。所要時間10~15分)。

* スタッフ *

- ・沖縄教区宣教部：部長 高良孝太郎司祭、富本盛彦、上原榮正司祭、
岩佐直人聖職候補生、高良孝子、谷 昌二主教
- ・正義と平和委員会：下原太介司祭、中村真理、佐藤由佳、柴本孝夫司祭

* 締め切り* 5月12日(月)

〒162-0805 新宿区矢来町65番地 日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会宛
電話03(5228)3171 FAX 03(5228)3175

2008年沖縄週間/沖縄の旅 プログラム

6月20日(金)～23日(月)

今回は、「命どう宝～隠された事実-教科書検定問題から見る～」というテーマのもとプログラムを構成しています。以下、トピックを記します。

- 20日：集合し、きれいな浜辺へ。そして対馬丸記念館を見学。夜、沖縄教区センターにて基調講演。
 21日：8時「とまりん」(泊埠頭ターミナル)集合。8時30分、教区センターを經由しフィールドトリップ「中部戦跡巡り」へ。夕、沖縄教区センターにて分かち合い。そして教会分宿へ。
 22日：分宿先教会の主日礼拝に参加の後、午後から沖縄教区行事「慰霊の日」礼拝に参加。
 23日：摩文仁での「慰霊の日記念式典」に参加。13時現地で解散。解散後、那覇空港まで送ります。

日 時\	1日目 6月20日(金)	2日目 21日(土)	3日目 22日(日)	4日目 23日(月)	
8:00		8:00 出発 (とまりん前集合)		ホテルよりバスで移動 沖縄全戦没者追悼式 へ参加	
9:00					
10:00		フィールドトリップ 中部戦跡巡り ガイド：大城美代子氏			各宿泊教会の礼拝 に出席
11:00					
12:00		昼食			昼食
13:00	集合・出発(那覇空港)	分かち合い 会場：沖縄教区センター	沖縄教区行事 「慰霊の日」礼拝参加 会場：北谷諸魂教会 一人芝居：会沢芽美氏	解散 バスで那覇空港・那覇 市内まで送ります。	
14:00	対馬丸記念館訪問				
15:00					
16:00					
17:00	本受付(沖縄教区センター) 開会礼拝・オリエンテーション 夕食	各教会分宿へ 分宿先教会での交流	ホテルへ移動 途中、夕食		
18:00	基調講演 (現在交渉中)	各教会に分宿	ホテルで交流会		
19:00					
20:00					
21:00	就寝前の祈り 各宿泊場所にて就寝				
宿泊	各ホテル	各教会に分宿	サンライズ知念		

旅に用意するもの・服装の注意

*この週間の実施期間は、ちょうど沖縄の梅雨明けの頃になります。

この頃の雨は、一日中降り続くといった降り方ではなく、朝夕に夕立のように、サッと降ってすぐに雨が上がります。簡単な雨具〈折り畳みの傘、ビニールの雨具〉を用意しておくといよいでしょう。

*沖縄の6月下旬の気候は本土各地の盛夏の頃の気温と日差しです。日中の強い陽射し(紫外線)を避けるため「つばのある帽子」は必需品。また水筒も必ずご携行ください。

*強い日差し(紫外線)を避けるための工夫を、各自あらかじめ考えておくのもよいでしょう。特に肌の弱い女性の方は、日焼け止めクリーム、袖のある上着(薄手の長袖シャツ)、日傘、サングラスなどの用意を!

*フィールドトリップの際に真っ暗な鍾乳洞(ガマ)に入ります。小さな懐中電灯をご用意ください。

☆旅の服装で注意したいポイントは、

1. 汗を吸う素材のもの(木綿などの素材)。
2. 半ズボン、キュロットスカート、コットンスラックス、ジーンズなど、暑さを防いで動きやすい(リラックスできる)もの。
3. 着替えは十分に用意してください。
4. 行き帰りの飛行機の中は冷房(空調)が少し寒いくらいですので、機内で羽織る上着などは各自の判断でご用意を!
5. 移動が多いため、歩きやすい靴で。また泥などで汚れたりしますのでご注意を。

◎プログラムの中で、沖縄教区の教会に参加者が分散して宿泊し、沖縄教区の信徒の方々との「分かち合い」の機会があります。参加者の地元の名産(1,000円程度のお菓子など)をお土産にするのも、話題の一つになるかと思います。

(尚、これは自己負担です。強制ではありません。)

お申し込みの際して

- 下記申込書にご記入の上、日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会宛にお送りください。
〒162-0805新宿区矢来町65番地 TEL 03(5228)3171 FAX 03(5228)3175
- 航空券手配、宿泊場所について、その他
「参加のご案内」内の「参加のしおり」をよくご覧ください。
- 締切日は5月12日(月)です。

----- キリトリ -----

2008年 沖縄週間 / 沖縄の旅 申込書

ふりがな			年 齢	性 別
氏 名			歳	男・女
※宿泊の部屋割り等の判断材料とさせていただきます。				
住 所	〒			
電 話	()	FAX	()	
携帯電話	()	Email		
所属教区 所属教会	教 区			教 会
利用航空便について				
往	日	便	那覇空港 着 時刻	:
復	日	便	那覇空港 発 時刻	:
宿泊について				
20日	ホテル ()			・ 小祿聖マタイ教会
※決まっていればホテルを記入。教会宿泊を希望する場合は○印をつけてください。				
食事について (必要なところにチェックマークを入れてください。)				
<input type="checkbox"/> 20夕 <input type="checkbox"/> 21昼 <input type="checkbox"/> 22夕 <input type="checkbox"/> 23朝 <input type="checkbox"/> 23昼				
自己紹介欄 (ご自由にどうぞ。参加動機などもお聞かせください。)				

■とまりん

沖縄県那覇市前島3丁目25番1号

Tel 098-861-3341

<http://www.tomarin.com/>

